

【修正一覧表】 H27年9月8日

○香美市人口ビジョン

頁	修正箇所	旧		新
2	人口推計の設定 最終段落	なお、社人研の推計期間は2040年までとなっています。	→	社人研及び日本創成会議の推計は2040年までとなっていますが、本人口ビジョンでは社人研推計の仮定に準拠した2060年までの推計を行っています。
6	① 最終行	年齢構成の高齢化は生産年齢人口比の低下とあわせて、今後さらに本格化する可能性をみていく必要があります。	→	高齢化や生産年齢人口比の低下は、今後も継続することが予想されます。
6	グラフ下	(注を追加)	→	※年少＝0～14歳、生産年齢＝15～64歳、高齢者＝65歳～
9	② 3行目	2013年には転入超過となり、翌2014年の転出超過ですが少ない人数となっています。	→	2013年には転入超過ですが、翌2014年はずかには転出超過となっています。
16	③ 3行目	、「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「情報通信業」「卸売業、小売業」「医療、福祉」など	→	「卸売業、小売業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」など
35	① 3行目	39,238人から28,766人に減少しましたが、世帯数は10,828世帯から	→	33,878人から28,766人に減少しましたが、世帯数は10,901世帯から
35	① 5行目	3.62人から	→	3.11人から
48	⑧ 2行目	物部町と土佐山田町の第2次産業が減っており、	→	物部町の第2次産業の減少幅が大きく、
56	1行目	日本創成会議による設定では、2040年までの推計しか行われていません。	→	日本創成会議による設定は、2040年まで純社会移動率に独自の係数を乗じるもののため、2040年までの推計しか行われていません。
58	最終行	人口減少に歯止めがかかっていきます。	→	人口減少はケース1に比べてゆるやかになります。
69	1行目	将来人口推計における2010年→2060年の増減率比較	→	将来人口推計における増減率比較
69	増減率の表	(2010年→2040年の比較表を追加)	→	ケース1(社人研推計)の2040年までと、ケース2(日本創成会議なので2040年まで)を比較する2行を下部に記載
69	増減率の表 ケース2 20-39歳女性人口	-58.5%	→	-48.6%
69	④ 5行目	社会移動を「なしから社会増」と仮定した	→	社会移動なしから社会増と仮定した
83	アンケート結果概要について 最終行	数表中の「n」は、比率算出上の基数＝標本数(該当数ベース)を表しています。	→	数表中の「n」は、比率算出上の基数＝標本数を表しています(その項目で表示されている比率はn人の中の比率、ということになります)。

○香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略

頁	修正箇所	旧		新
11	(ア)②のKPI	・市外からの移住者数 年間20組	→	移住専門相談員の設置 2人

○香美市まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン

頁	修正箇所	旧		新
18・19	(2)移住の受け皿体制の整備充実 ア. NPO法人「移住定住交流事業」、香美市移住定住推進協議会及びイ. アドバイザー委託業務のKPI	・市外からの移住者数 年間20組	→	移住専門相談員の設置 2人